

21 世紀 COE「京都大学化学連携研究教育拠点」講演会開催報告書

化学研究所 時任宣博，小澤文幸，川端猛夫，中村正治，村田靖次郎

講演会名：化学研究所・有機化学セミナー

講演題目：Silicon Migration as a Useful Tool in Organic Synthesis

(有機合成における有用な手法としてのケイ素転位反応)

講師：Prof. Dr. Ernst Schaumann (Technical University of Clausthal, Germany)

日程：2006年8月30日（水）14:00 –15:30

場所：化学研究所 中会議室

主な参加者：化学研究所在籍大学院生・教官

総参加者概数：30 名

講演内容：

Ernst Schaumann 教授は，ケイ素，リン，硫黄などのヘテロ原子化学の分野の一線で活躍している研究者の一人であり，ヘテロ原子化合物の合成法の開発とその構造・反応性の解明，およびそれらの化合物を用いた環状化合物の合成などに関する研究を展開している。

今回の講演では，有機ケイ素置換基の転位反応を利用した，ヘテロ原子化合物の新規合成法の開発に関する最新の研究成果が紹介された。

講演後の質疑応答も活発に行われ、意義深い学術講演会となった。